

# 富山県発明とくふう展内容説明書 (審査・展示用)

(第55回)

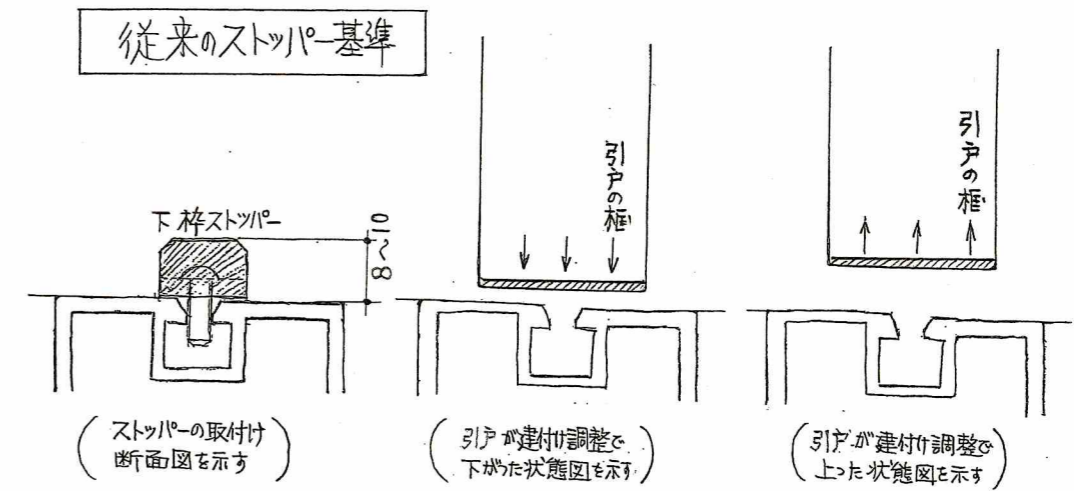
(1) 企業の部 (2) 一般の部

受付番号 55

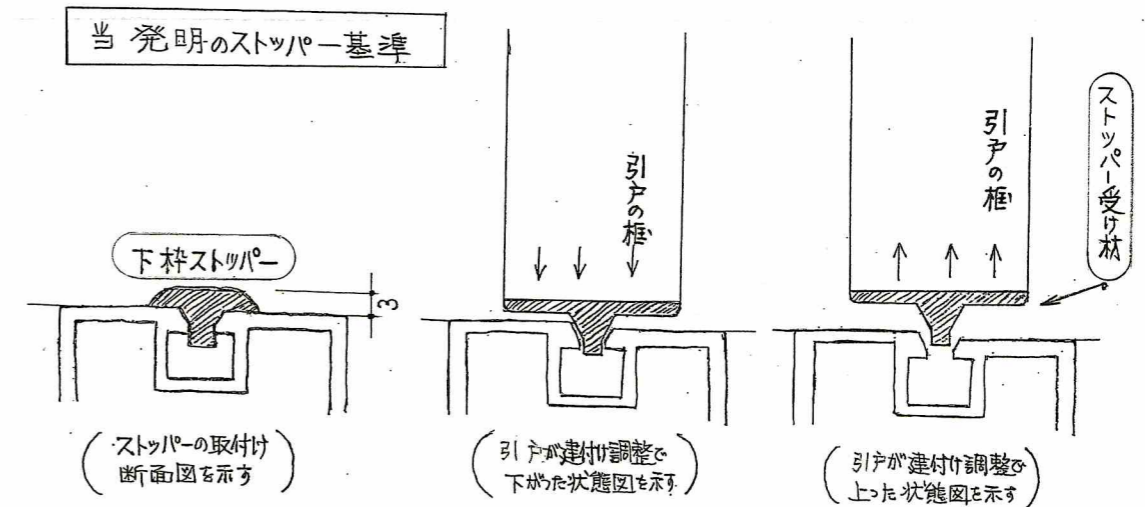
ふりがな	したゆく		
作品の名称	下枠ストッパーのバリアフリー化		
ふりがな	だいえいけんざい	ふりがな	はやし かずひこ
会社名	大栄建材株式会社	発明者名	林 和彦
特許・実用・意匠の出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願 <input checked="" type="checkbox"/> 出願済み	出願・公開番号	2014-214676
		登録番号	特許 6215176
		外国特許他	
特徴と要点 (必ずご記入下さい)			
1. 室内引戸は、本来、建付け調整を行う必要があるため、上下方向に±4%程度、動く構造になっています。そして、この移動する寸法を見込んで下枠のストッパーの高さ寸法を設定しています。(現状8~10%ぐらいになる)右図参照			
↳ ※この寸法は、けまずき易い。			
2. これを改善するため、当発明は、引戸の框の下部に、ストッパー受け材を付けてこのストッパー受け材の形状を、Y字状にすることで、この下枠ストッパーの高さの寸法を、バリアフリー基準寸法(3mm)までに、小さくすることに成功しました。			
3. そして、このバリアフリー基準の下枠ストッパーを取付けて、引戸を閉鎖する際、引戸を、所定の位置で、外れることなく確実に止められるようになった。			
4. これによって、現在、全国の建物の室内引戸には、最大手の大和ハウス工業をはじめとして多数の住宅メーカーに、採用いただけるようになりました。			
※ このように、社会的にも好評を得て、近年の我社の売上げが、格段にのびています。			

[注]. 実際の取り付け施工例は、添付の総合カタログを参照下さい。P125~P148

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)



下図の発明によって引戸のストップ装置の機能が格段に向上し、現在では、全国の建物に使用されています。(弊社のカタログと取扱い内容が記載されています)



### 記載注意事項

1. 審査時は、この説明書が添付資料となりますので記載が不明確な場合は審査にもれることがあります。
2. 従来のも(或いは方法)に比し、どこを(何を)どのように発明・工夫したか、要点を判り易く、図を用いた方が判り易い場合は図面(略図でよい)でご説明下さい。
3. 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしぼってご記入願います。